

【学校長コラム】 当たり前...

8月から9月にかけて、スポーツ中継に見入っています。

8月末はバスケットボールでした。沖縄で行われたワールドカップ。日本代表は、見事に3勝を上げ、実に48年ぶりにオリンピックの出場権を獲得しました。その中で、最年少で身長169cmの河村勇輝選手が大活躍しました。

9月に入り、ラグビーのワールドカップがパリで始まり、日本代表は初戦のチリ戦を見事に勝利で飾りました。ワールドカップ出場4度目の34歳、リーチ・マイケル選手が見事なトライを決め、チリに快勝しました。

そして、サッカー日本代表は、ヨーロッパに遠征して、アウェーの地でドイツとトルコに圧勝しました。日本代表がW杯優勝国に連勝するのは史上初の快挙だそうです。まだ22歳でスペインで活躍する久保建英選手は、2試合で大活躍して3アシストを記録しました。

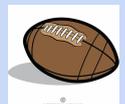
私自身、幼い頃にサッカーをやっていて、スポーツ好きでいろいろなスポーツを観戦してきました。その頃には、想像もつかないいろいろな種目での日本代表の大活躍に興奮しました。そして同じく、それぞれの選手の言葉にも感銘を受けました。

あたりまえにやるべきことを、毎日欠かさずきちんと継続することこそが重要



河村勇輝(バスケットボール日本代表)

夢を持つことはすごい大事で、一番持ってほしいのは目標



リーチマイケル(ラグビー日本代表)

自分の努力は裏切らない 久保建英(サッカー日本代表)



本当に「当たり前...」のことです。しかし、その「当たり前...」をいつでもどこでも全うできることが大切なのだと思います。

顧みて、だいたい小学校で日々がんばる子供たちのことを思います。一人一人が本当に可能性の塊です。5年後10年後、様々な場面で活躍する可能性に溢れています。そのために、毎日の学校生活で何を大切にしていけばよいのか...

子供たちの身近にいる私たち大人が、子供たちに大切な「当たり前...」を大切に、認め育てていく必要性を感じます。

スポーツ中継を見ながら、そんなことを感じる、少しずつ涼しくなる秋の夜長です。